



退屈にならない風通しの良さと、寛いだ品格がスローニーの共通項

中野香織さん

「スローニー(sloany)」とは、高級ショップが並ぶロンドンのスロウンスクエアに出没するような、若い社交人士のことである。ダイアナ妃のご成婚当時に「スローン・レンジャー」と呼ばれていた、その妹(や弟)たち。上流階級の子弟が通う私立学校出身で「ちよっと甘やかされてきた」ような、リッチでファッションセンスも高く、ややスノッブなビューティフル・ピーブルのことである。

ロイヤルファミリーの仲間入りをするケイト・ミドルトンも、そんなスローニーの典型である。ケイトのファッションは、「スローニー・スタイル」と呼ばれ、新・上流スタイルとして注目を浴びる。

婚約発表記者会見でも着た、正装感とリラックス感が共存するジャージードレス。カジュアルでこそ清潔感が生きる、白やジャケット。ブルーやレッドなどのロイヤルカラー。時に目立つお帽子。

スローニー・スタイルに共通する特徴

なかの・かおり●エッセイスト、服飾史家。2008年より明治大学国際日本学部特任教授。著書に『愛されるモード』(中央公論新社)、『ダンディズムの系譜』(新潮選書)、『モードとエロスと資本』(集英社新書)などがある。ブログ<http://www.mode.kaori-nakano.com/>

「スローニー」スタイルが恋を呼ぶ!

ミドルトン流

サバ

Kate Middleton's New Conservative Style

長めているのが、彼女のファッション＝「スローニー」スタイル。イギリス上流階級の象徴として堅苦しくはない、リッチ感とお洒落感が漂う、こなれた着こなしが特徴です。彼女の愛されスタイル。今マスターすべき、ケイト流“新コンサバ”の極意を公開します!

PRIMOTO Realization: MICHIRU NAKAJIMA



気品と女らしさの宝庫、コンサバファッションはケイトによって蘇る

藤岡篤子さん

ロンドンコレクションの最中にも、スローニーの象徴的存在ケイトの影響を享受する「ミドルトン・マニア」という言葉が飛び交っていた。装飾的なヘッドドレスなど典型的な上流スタイルもとりげなく身につけていた。息を誘い、一方では、勤務していたジグソーの安価なプリントドレスを普段着に愛用、あっとい間に同じデザインは売り切れ、婚約会見で着ていたISSAのロイヤルブルーのラップドレスにいたっては、コピー商品まで瞬時に完売という熱狂ぶりだ。

ケイトのファッションの特徴は、高額のラグジュアリーブランドやクチュールを選ぶのではなく、また豪華なジュエリーの力を借りることなく、趣味の良いベーシックな服をシンプルに着こなし現代的スタイルにある。ワードローブの基盤は、長年の

ふじおか・あつこ●ファッションジャーナリスト&ディレクター。毎年パリ、ミラノなど世界各地のコレクション取材し、最新トレンドを鋭く分析。新聞、雑誌などで執筆、講演も多数。また百貨店などの顧問も務める。公式サイト<http://www.f-flori-cafe.com/>

1 ベーシックなトレンチコートで、暖かさを保ちながら上品さを演出するのがケイト流。2 3 コートドレスは彼女の定番。3 王冠やハットなど特別なシーンへは華やかな色調のジャケット。4 新コンサバのジャケットも、ヘッドドレスやクラッチでお洒落なアクセント。5 エアリーなワンピース、お洒落なジャケットもフェミニンにこなす

は、コンサバティブでありながら、退屈にならない風通しの良さがあり、選び抜かれた大胆なものを身につけても、さりげなく寛いだ品格が保たれていること。万人に好感をもたれる保守性とキューブな刺激が共存した、新・社交スタイル。それがスローニール・スタイルなのである。ご成婚パーティーにうんざりした本国では、「スローン・アップ(throw up)」というエチケツト袋まで登場。イギリス的なキヤクでからかわれるのも、ロイヤルファミリーの宿命で、愛されればこそ。




検証!

リッチでこなれた

ケイト・ 新コン

新時代のプリンセス、ケイト・ミドルトンの登場と共に、今、注目若者たちが生み出したそのスタイルは、基本はコンサバ、けれどそれはトレンドアイテムで武装したセレブたちとは一線を画す、

Photos : SHUICHI IWASE (IWASE STUDIO), GETTY IMAGES, AFLO, AMANA IMAGES Styling : MISA



レスをはじめとする諸国でもよく見られるスタイル。クローズだ。

華やかな美貌とグラマラスなスタイルを引き立てるブライトカラーやプリントのチョイス、体につかず離れずの品の良いソフトなシルエツト。行きすぎた重ね着は決してしない。ルールを守りながら、ノーアクセサリーでモダンに見せる着こなしは、普遍的な女らしさの若々しい一面を見せる。

ハイエンドからデイリーカジュアルまで年齢相応に着こなす姿は、好感度抜群で、これこそまさにロイヤルファミリーに求められる資質ではないか。

改めて魅了されるみずみずしいコンサバティブファッション。気品と女らしさの永遠の宝庫は、ケイトによって再び魅